

# 協会の開催案内

## マンスリーセミナー

387	8/18 (火)	AM (3Dプリンター) 技術とその市場	株式会社アスペクト 代表取締役社長 早野 誠治 氏
(内容)米国オバマ大統領の2013年的一般教書演説で3Dプリンターとして知られるようになったAM技術は、最近ドイツが提唱するIndustry 4.0の中でマスカスタマイゼーションを担う技術としても注目されている。講演は、まず7種類に分割されるAM技術の概要を解説する。そして、AM技術のユーザーでの応用事例に関して紹介し、AM装置を取り巻く環境や市場、AM技術の課題についても解説する。最後に日本でのAM技術の歴史や日本政府の対応に関しても解説する。 講演のアジェンダは、以下の通りである。			
1. 3Dプリンターって何? 2. AM技術の応用と用途 3. AM技術と装置の動向 4. AM技術を取り巻く環境と市場動向 5. AM技術を整理してみると 6. 日本のAM技術と日本政府の政策			
388	9/15 (火)	POFを用いた車載用ギガビット光通信技術 とその標準化活動	矢崎総業株式会社 車載技術開発センター 第三技術開発部 チームリーダー 芹澤 直嗣 氏
(内容)近年、自動車における運転者支援や自動運転といったシステムの普及が急速に高まっている。このような技術を支えるためには大容量の情報を正確に伝達することが求められている。既に自動車で採用されているPOF/LEDを用いた光通信技術を応用したギガビット通信を行う技術開発がグローバルで開始された。日本においても、2014年度より経産省の国プロとして研究開発が始まった。併せて、2017年以降に車載用光ファイバや光コネクタ等仕様がISO化されるような活動が始まつた。本講演においてはPOF/LEDを用いたギガビット通信技術の概要、及び車載用光通信の標準化について紹介する。			
389	10/20 (火)	ペロブスカイト光発電素子の特徴と応用	桐蔭横浜大学 大学院工学研究科 教授 宮坂 力 氏
(内容)有機無機ハイブリッド組成のペロブスカイトは演者らのグループによって2006年に初めて光電変換への応用が試みられ、現在では太陽電池用光吸収材料としてシリコンと競う20%の高効率に達している。本講ではこのペロブスカイトの真性半導体としての特異な性質を示し、光発電素子から光エレクトロニクス素子(光ダイオード)までの応用について海外での研究動向とともに、われわれの研究成果として、光発電で17%以上の効率を得る方法、光ダイオードでは2,000倍以上の增幅効果を得る素子構造を紹介する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧下さい。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3番出口）  
東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階  
時 間：午後3時30分～5時30分  
定 員：60名（申込先着順）  
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）  
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）  
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 潮田（うしおだ）  
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435  
E-mail：mly@oitda.or.jp